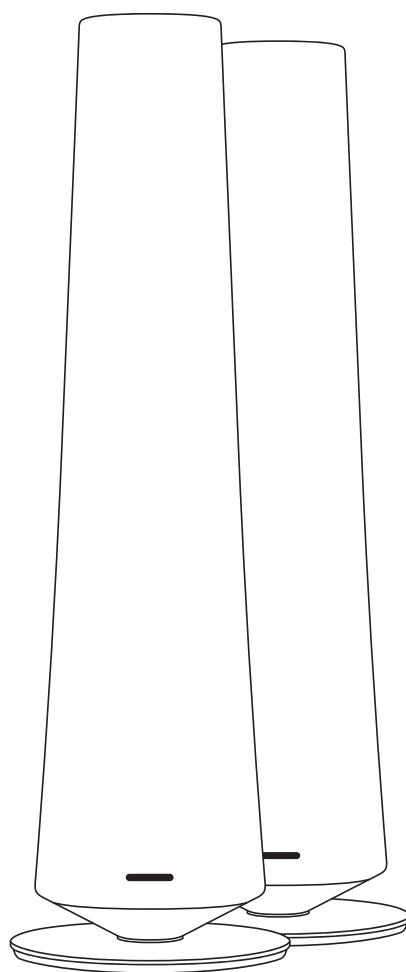


CITATION TOWER



取扱説明書

／ 重要な安全上のご注意

延長コードを使用しないでください

安全上の危険を避けるため、ユニットに付属の電源コードのみを使用してください。本製品に延長コードをご使用になることは推奨されません。ほかの電気機器と同様に、電源コードを敷物やじゅうたんの下に配置したり、上に重い物を置いたりしないでください。電源コードが破損した場合、認定サービスセンターにて、工場の仕様を満たすコードに直ちに交換する必要があります。

AC電源ケーブルを正しくお取り扱いください

ACコンセントから電源コードを抜くときは、コードを引っ張らず、常にプラグを引くようにしてください。スピーカーを長期間にわたって使用しない場合は、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

キャビネットを開けないでください

本製品の内部にはユーザーが修理可能な部品はありません。キャビネットを開けると感電の危険があり、改造すると製品の保証が無効になります。水がユニット内部に入ってしまった場合、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、認定サービスセンターにお問い合わせください。

安全に、安定した状態に設置してください

本製品は、地震の際には不安定になり傾く可能性があります。また、壁に取り付けられている場合には傾いたり、不適切な位置に動く可能性があります。

/ 目次

重要な安全上のご注意.....	2
はじめに	4
同梱品	5
製品の概要	6
設置.....	9
電源を入れる	11
スピーカーのセットアップ	13
CITATION TOWERを使う	17
設定	21
仕様.....	23
トラブルシューティング	24
商標.....	26

/ はじめに

本マニュアルはCITATION TOWER（プライマリーおよびセカンダリースピーカー）についての情報を提供しています。本マニュアルに記載されている、製品についての説明、およびセットアップと使い方に関する手順をご一読いただくことをおすすめいたします。製品をご使用になる前に、安全上のご注意をすべて読み、内容をご理解の上ご使用ください。

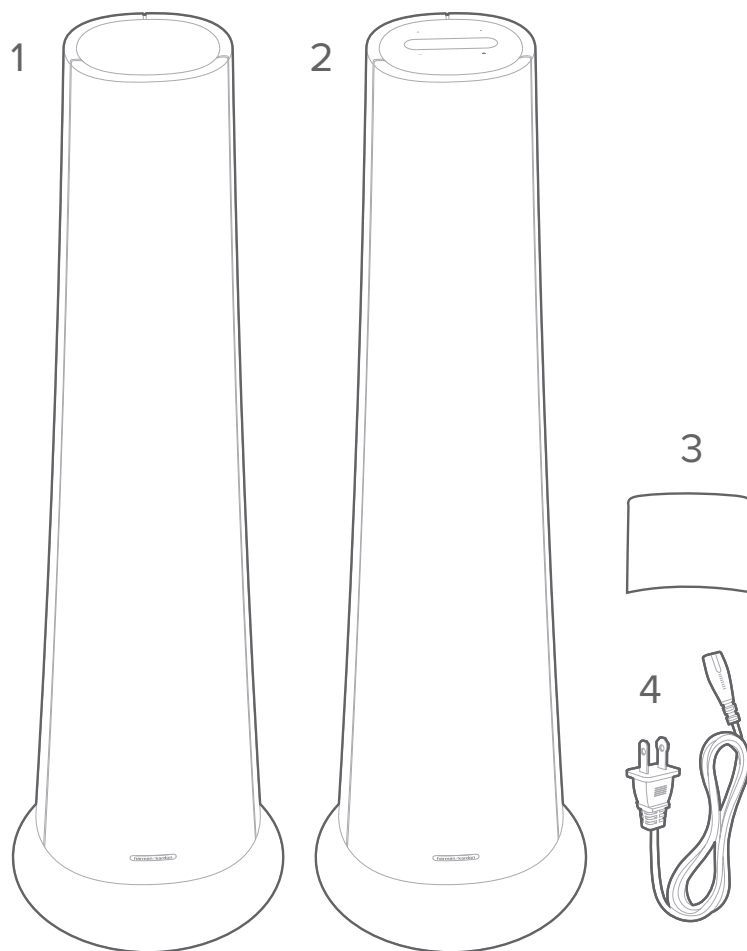
本製品は、重要なソフトウェアアップデートが利用可能になる場合があります。製品が常に最新のソフトウェアにアップデートされるよう、説明書をご参照のうえ、お使いの製品をWi-Fiに接続してください。

デザインおよび仕様は、予告なく変更されることがあります。

本製品、および製品の設置または操作に関するご質問は、製品をお買い上げになったHarman Kardon販売店またはカスタマーサービスにお問い合わせいただくか、当社ウェブサイト www.harman-japan.co.jp をご利用ください。

／ 同梱品

箱を丁寧に開封し、以下のパーツがすべて入っているかどうかをご確認ください。破損しているパーツがあった場合は、使用せず、Harman Kardon販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

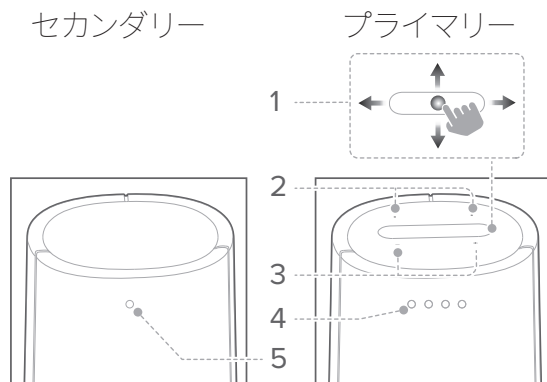


1. 本体 (セカンダリースピーカー)
2. 本体 (プライマリースピーカー)
3. 下部カバー x 2
4. 電源コード* x 2

*電源コードの数量およびプラグのタイプは地域によって異なります。

製品の概要

トップパネルおよび前面




1. マイク
2. タッチスクリーン

	Wi-Fiシグナルインジケータ。
	ボタンを押してマイクのミュートまたはミュートの解除を行います。
	ボタンを押すとGoogle Assistantが起動します。
	ボタンを押すとBluetoothペアリングモードになります。 ボタンを3秒以上長押しするとBluetoothが無効になります。
	ボタンを押すと、一般設定がカスタマイズできます。
	押すと、お手持ちのCITATION SUBと連動したマルチチャンネルサラウンドシステムを設定できます。(オプション)
	押すと、本製品の情報をご確認頂けます。

3. -/+ (音量)

- ボタンを押して音量を上げ下げします。

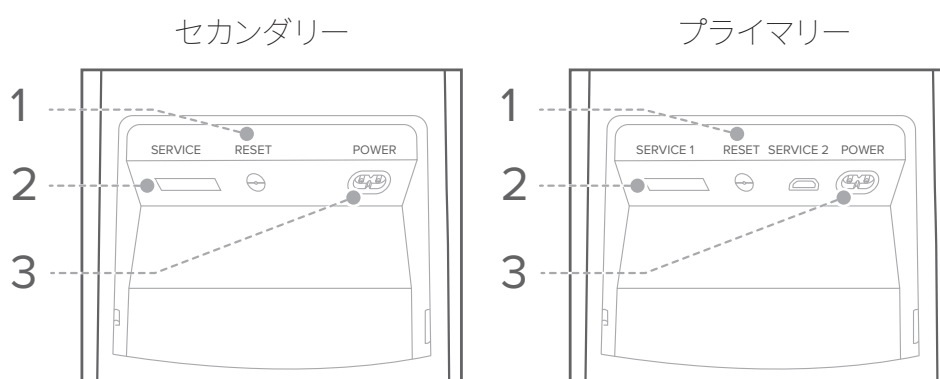
4. LEDインジケータ (Google)

	白 (ゆっくり点滅)	リスニング中
	白 (早く点滅)	リスポンディング
	黄色 (点灯)	マイクが消音モード
	白 (3回点滅)	電源がオン/システムが起動

5. LEDインジケータ (WiSA)

	白 (点滅)	ペアリング
	白 (点滅)	圏外/ワイヤレス接続解除
	白 (10秒間点灯、その後消灯)	CITATION BAR/ADAPTとワイヤレス接続

底部



1. RESET

- 5秒以上長押しすると、工場の初期設定に戻ります。

2. SERVICE

- 保守担当者のみ使用。

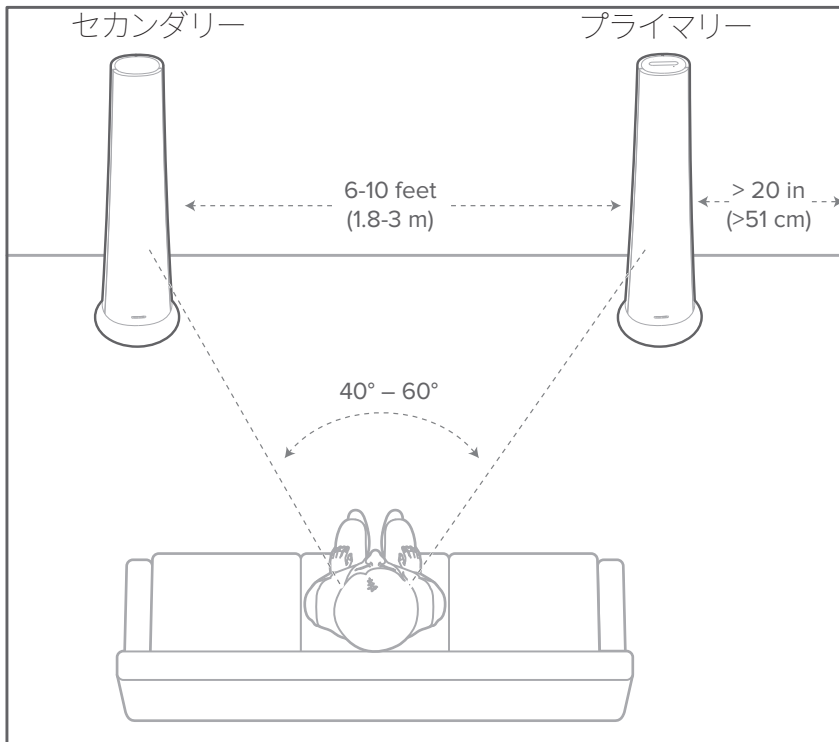
3. POWER

- 電源に接続します。

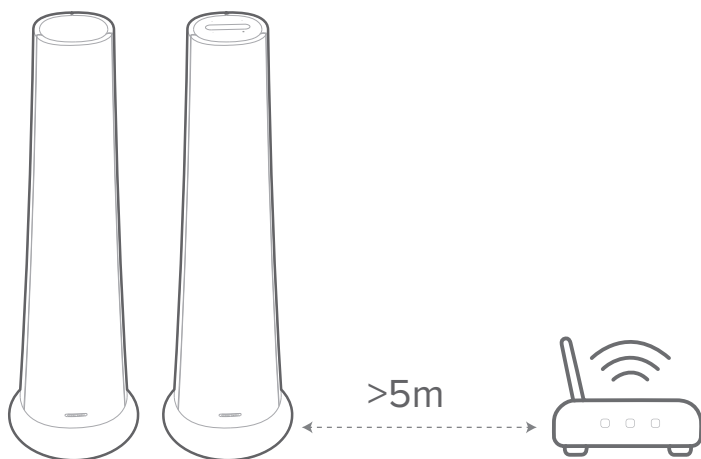
設置

CITATION TOWERをコンセントの近くの平らで安定した面に置きます。

- 1) 最も美しくそして正確なステレオサウンドを実現するために、スピーカーは6~10フィート (1.8~3m) 離して設置してください。聴く位置と両方のスピーカーの間を40~60度に保ってください。
- 2) 壁や角にスピーカーを近づけると、低域出力が増加します。音質を高めるために、スピーカーと、横、後ろの壁の間に、最低51cm (20インチ) の距離を保ってください。



*ワイヤレス通信への妨害を防ぐために、その他のワイヤレスデバイスとスピーカーの間に、5メートル（16.4フィート）以上の距離を保つようにして下さい。



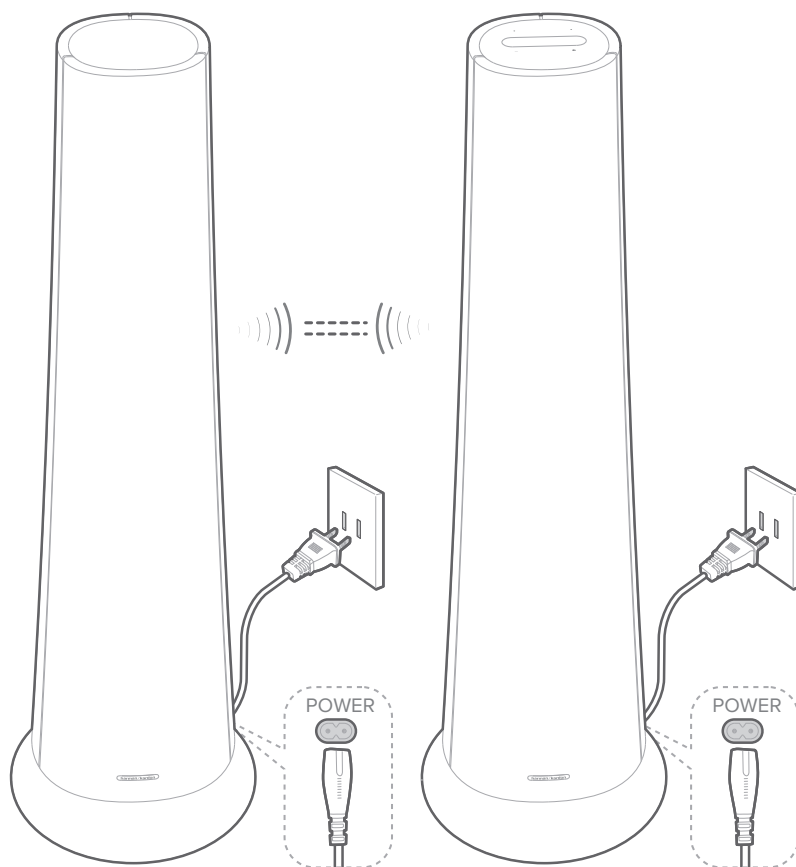
電源を入れる

注意:

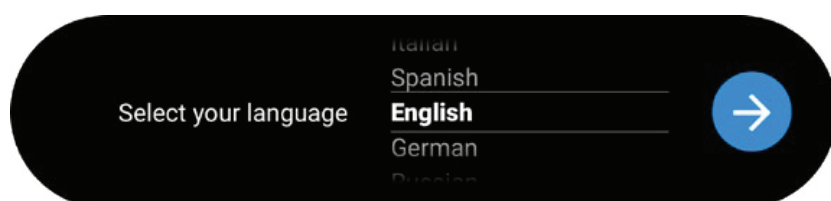
- 必ず同梱の電源ケーブルを使用してください。
 - 電源ケーブルを抜くときには、必ずケーブル部分ではなくプラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
- 1) AC電源ケーブルの片方の端のプラグをスピーカーの下部の**POWER**ターミナルに挿入し、反対側の端のプラグをコンセントに接続します。
- プライマリースピーカーは自動的に電源が入り、タッチスクリーンが表示されます。

セカンダリー

プライマリー



- 2) 初期設定として、タッチスクリーンの指示に従って言語を選択します。

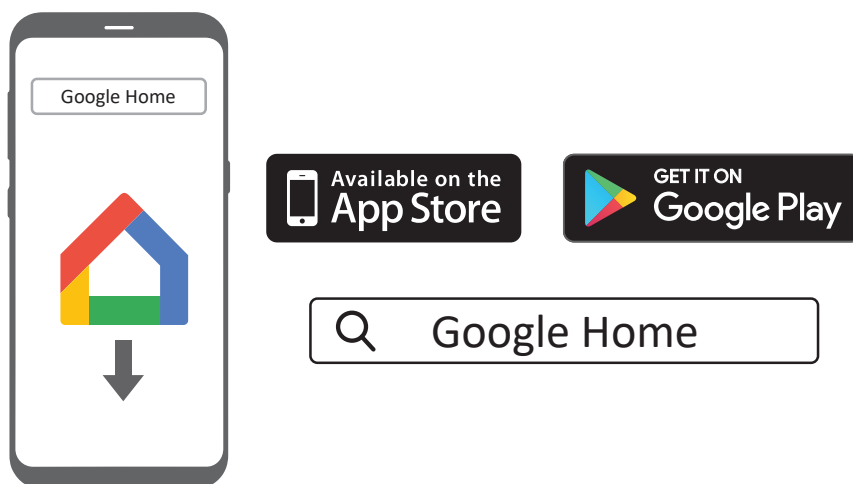


- 3) 単独のステレオスピーカーとして操作するには、“MUSIC”を押します。あるいは、サテライトスピーカーのペアとして操作するには“VIDEO”を押します（詳細は「スピーカーのセットアップ」の項をご覧ください）。

／ スピーカーのセットアップ

スタンドアロンスピーカーとして操作する

- 1) プライマリースピーカーのタッチスクリーンで“MUSIC”を押し、ステレオモードに入ります。お手元のCITATION TOWERは、Wi-FiでGoogle Homeアプリに接続する必要があります。
- 2) お使いのスマートフォンまたはタブレットに、Google Homeアプリをダウンロードしてください。



- 3) Google Homeアプリを実行し、アプリ内の指示に従ってCITATION TOWERをセットアップします。Wi-Fiセットアップを完了するには、必ずアプリの手順に従ってください。
- 4) お使いのGoogleアカウントでサインインします。Googleアカウントをお持ちでない場合は、新たに作成してください。

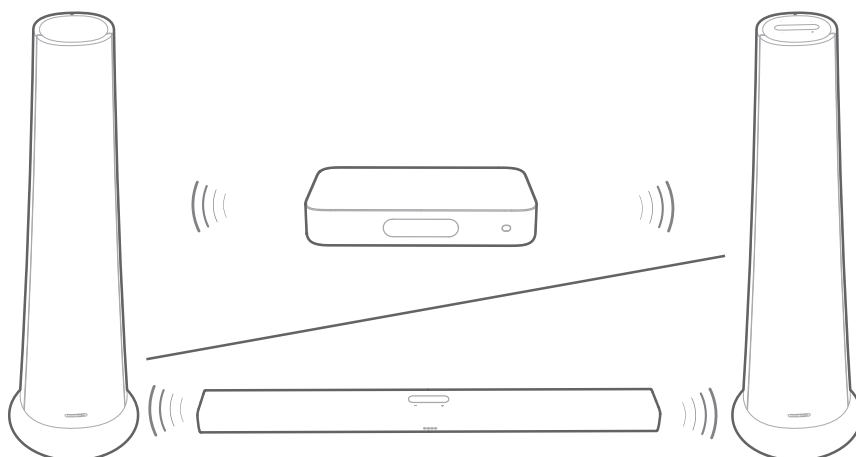
注意：

- セットアップの途中で問題が生じた場合は、お使いのスマートフォンまたはタブレットのBluetoothとロケーションサービスが有効になっていることを確認してください。
- Google Homeアプリ内で、本製品の名前を変更することができます。デバイスの名前は、Bluetoothデバイスを見つける際と、Chromecastのストリーミングの際に表示されます。
- 本製品インターネットに接続されると、パフォーマンス向上のためのソフトウェアのOTAアップデート（無線経由でのアップデート）を定期的に受信します。本アップデートは完了までに2～3分を要する場合があります。

サテライトスピーカーとして操作する

CITATION TOWERは、次の製品のサテライトスピーカーとしてペアリングできます。

- CITATION BAR (サブウーファー、別売り) : 3.0チャンネルサラウンドシステムをセットアップ。
 - CITATION ADAPT (サブウーファー、別売り) : TV用に2.0チャンネルサラウンドシステムをセットアップ。
- 1) プライマリースピーカーのタッチスクリーンで“**VIDEO**”を押し、サラウンドモードに入ります。CITATION TOWERはCITATION BAR/ADAPT (別売り) のワイヤレスサテライトスピーカーになります。
 - 2) CITATION BAR/ADAPTのスクリーン上の手順に従い、セットアップを完了します。



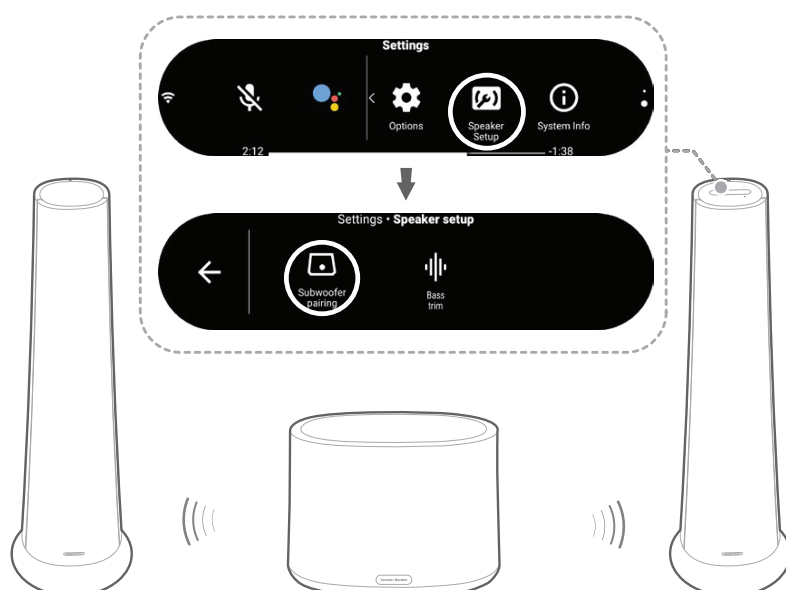
CITATION SUBとのペアリング (オプション)

低域再生能力の向上のため、お手元のCITATION TOWERをCITATION SUB (サブウーファー、別売り) とワイヤレスでペアリングすることができます。

注意:

- 確実にセットアップするためには、CITATION TOWERとCITATION SUB間の距離が5メートル (16.4フィート) 以内になるようにしてください。
- CITATION TOWERの電源がオフの場合、サブウーファーはスタンバイモードに入ります。
- CITATION TOWERの近くで同じ周波数 (2.4GHzあるいは5GHz) のデバイスをサウンドバーとしてお使いの場合は、音の断絶を引き起こす場合があります。
- CITATION TOWERとサブウーファー間の電波の最大伝送距離は、操作環境によって異なります。

- 1) CITATION TOWERとCITATION SUBの電源を入れます。
- 2) タッチスクリーンで、“Speaker Setup” > “Pairing” > “Subwoofer pairing”を押しペアリングモードに入ります。
→ 接続が完了するとペアリングチャイムが鳴り、タッチスクリーン上に“Subwoofer connected”と表示されます。




LED インディケータ (CITATION SUB)

☉	白 (点滅)	ペアリング
☉	白 (点滅)	圏外/ワイヤレス接続解除
○	白 (10秒間点灯、その後消灯)	CITATION TOWERとワイヤレス接続

/ CITATION TOWERを 使う

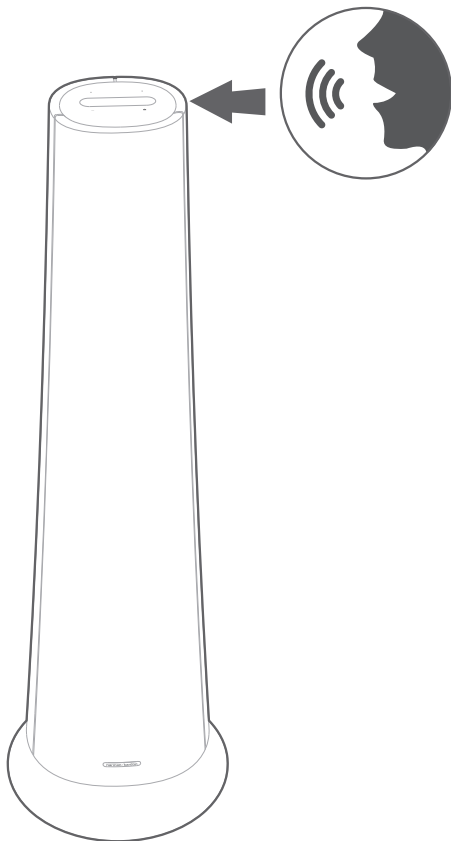
Googleアシスタントに話しかけます

CITATION TOWERには、Googleアシスタントが内蔵されています。話しかけるだけで、音楽を聴いたり、質問の答えを得たり、日々のタスクを管理できるほか、ご自宅のスマートデバイスを簡単にコントロールできます。

Googleアシスタントを起動させるにはリモコン、あるいはタッチスクリーン上で  を押し、リクエストを話しかけます。

CITATION TOWERがChromecastあるいはBluetoothから音楽をストリーミングしている時は、「**Ok Google**」あるいは「**Hey Google**」と話しかけてからリクエストを話しかけてください。

→ CITATION TOWERはすぐに反応します。




ご注意：

- 最新のボイスコマンドに関しては、assistant.google.comをご覧ください。

Chromecastで音楽を再生

Chromecastが搭載されているので、**Cast**ボタンをタップするだけで、300以上の音楽アプリから、音楽／楽曲／ポッドキャスト／プレイリストをスピーカーで再生できます。

- 1) お使いのスマートフォンまたはタブレットで、Chromecast対応アプリを起動します。
- 2) アプリ上で  アイコンを押してから、CITATION TOWERを選択します。
- 3) アプリ上で“Play”を押します。

注意：

- 本製品の名前は、Wi-Fiのセットアップ時に割り当てられます。
- Citationスピーカーはオーディオの再生をサポートしていますが、ビデオの再生はサポートしていません。

Citationファミリーを使用した、マルチルーム・グループ再生

Citationスピーカーは、内蔵のChromecastによるマルチルーム・コントロールをサポートしています。

Google Homeアプリ上でグループを作成してください。スピーカーを追加するだけで、マルチルームでの再生が簡単に設定できます。

注意：

- 詳細については、Google Homeアプリを参照してください。
- 音楽をストリーミングできるChromecastスピーカーの数は、お使いのローカル・ワイヤレスネットワークの帯域幅によって異なります。理論上は、無限の数のデバイスを接続して同じ曲を再生することが可能です。

Bluetoothを通じて音楽を再生

CITATION TOWERは、Bluetoothが有効になっているタブレットやスマートフォンのスピーカーとしてお使い頂けます。

- 1) タッチスクリーンで **Bluetooth** を押すと、Bluetoothペアリングモードになります。

→ 再接続に要する10秒間、または正しく接続が完了するまでの間、**Bluetooth** アイコンの下の白い丸が点滅します。



2) お使いのスマートフォンやタブレットで、“Citation Tower”を選択して接続します。接続されると、ペアリングを示すチャイム音が鳴ります。

→ 音楽が再生されている時、タッチスクリーン上に楽曲、曲名、そしてアーティスト名がスクロール表示されます。

注意：

- すでにサウンドバーをWi-Fiに接続していて、デバイス名を変更した場合は、新しいデバイス名を選択してください。
- 接続を停止し、他のデバイスとペアリングをするには、リモコン、あるいはタッチスクリーン上で **Bluetooth** を3秒間以上長押ししてください。
- 20分間動作をしていない場合、スピーカーの電源は自動的にオフになります。
- Bluetoothの性能は、本製品とお使いのBluetoothデバイスとの距離、および操作環境に影響されます。
- 切断を防ぐため、本製品とお使いのBluetoothデバイスは、10m (33フィート) 以上離さないようにしてください。

再生コントロール

- **II**: 再生を開始、一時停止、あるいは再開します。
- **◀/▶**: 前の曲/次の曲にスキップします。

/ 設定

音量

音楽再生中に音量を調節するには、4つの方法があります。

- トップパネルにある-/+ボタンを押す、あるいは長押し。
- 音量バーをゆっくりとドラッグ。
- スマートフォンやタブレット上のGoogle Homeアプリを通じての音量調節。
- Googleアシスタントに、音量を調節するよう声で指示。

ディスプレイの明るさ

☛ Options > ☀ Brightness を押し、そしてボリュームバーをゆっくりドラッグしてタッチスクリーンの明るさを調節します。

ソフトウェアのアップグレード

お使いのCITATION TOWERスピーカーがWi-Fiを介してインターネットに接続されていると、ソフトウェアは、最新バージョンに自動的にアップグレードされます。

工場の初期設定への復元

工場プログラミングされた初期設定に復元するには：

- タッチスクリーン上で“Options” > “Factory Reset”を押す：あるいは
- CITATION BARの背面にあるRESETボタンを5秒間長押ししてください。

工場の初期設定への復元が完了すると、CITATIONスピーカーは自動的に電源が切れ、その後再起動します。保存されていた情報や設定はどれも削除されます。

システムインフォメーション

システムインフォメーションを見るには、タッチスクリーンで“System info”を押します。

- **Country:** 国と言語
- **Network:** Network SSID、シグナルの強さ、およびWi-Fiアドレス。
- **About:** モデルと名称。
- **Software version:** ソフトウェアバージョンおよび最終アップデート日時。

クリーニングとメンテナンス

スピーカーの外面をクリーニングするには、まずスピーカーからAC電源ケーブルを抜き、柔らかい清潔な布で拭いてください。

注:

- 布地の表面をクリーニングする際は、アルコール、ベンジン、あるいはシンナーを使用しないでください。

仕様

- トランスデューサー：25mm ツイーター × 1、4”ウーファー × 2、8”サブウーファー × 1 (各スピーカーごとに)
- 出力：各スピーカーごとに200W RMS
- 電源：100-240V～50/60Hz
- Wi-Fiネットワーク：802.11b/g/n/ac (2.4GHz/5GHz)
- スリープモードでの電源消費：<2.0ワット
- Bluetooth®バージョン：4.2
- Bluetoothトランスミッター周波数帯域：2402～2480MHz
- Bluetoothトランスミッター出力：<8dBm (EIRP)
- Bluetoothトランスミッター変調方式：GFSK、 $\pi/4$ -DQPSK、8DPSK
- 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域：5.15～5.35GHz、5.47～5.725GHz
- 5G Wi-Fiトランスミッター出力：<20dBm (EIRP)
- 5G Wi-Fiの変調方式：OFDM、BPSK、QPSK、16QAM、64QAM、256QAM
- 2.4GWi-Fi トランスミッターの周波数帯域：2412～2472MHz (2.4GHz ISMバンド、米国11チャンネル、ヨーロッパ・その他13チャンネル)
- 2.4GWi-Fi トランスミッター出力：<20dBm (EIRP)
- 2.4GWi-Fi 変調方式：OFDM、DSSS、DBPSK、DQPSK、CCK、16QAM、64QAM
- 5G Wi-Fiトランスミッター出力：<14dBm (EIRP)
- 5G WISAトランスミッター変調方式：OFDM、BPSK、QPSK、16QAM
- 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域 (国や地域によって異なります)：5.15～5.35GHz、5.47～5.725GHz
- 対応オーディオフォーマット：HE-AAC、LC-AAC、MP3、Vorbis、WAV (LPCM)、FLAC、Opus
- 寸法 (W×H×D)：347 x 1160 x 347 mm / 13.7” x 45.7” x 13.7” (スピーカー1台につき)
- 重量：19.4 kg / 42.8lbs (スピーカー1台につき)

トラブルシューティング

お客様自身での修理は、決して行わないようにしてください。本製品をご使用中にお困りの点がございましたら、サービスを依頼する前に以下のポイントをご確認ください。

サウンド

スピーカーから音がしない。

- スピーカーがミュートになっていないか確認してください。
- 正しいオーディオ入力ソースを選択しているか確認してください。

CITATION SUBから音が聞こえない。

- サブウーファのLEDが白色に点灯しているか確認してください。LEDが点滅している場合は、接続が途切れていることを意味します。手動でサウンドバーとペアリングしてください。

Bluetooth

デバイスがサウンドバーに接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているか確認してください。
- サウンドバーがすでに他のBluetoothデバイスと接続されている。✳ Bluetooth リモコンでを押して接続を切断し、新しいデバイスとペアリングしてください。

接続しているBluetoothデバイスからのオーディオの質が良くない。

- Bluetoothのレセプションが弱い。デバイスをサウンドバーに近づけるか、デバイスとサウンドバーの間にある障害となりえるものをどかしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiに接続できない。

- Wi-Fiがオンになっていることを確認してください。
- 正しいネットワークを選択し、正しいパスワードを入力しているか、確認してください。
- お使いのルーター、あるいはモデムの電源がオンになっていること、また帯域内にあることを確認してください。
- お使いのCITATIONスピーカーが、お使いのスマートフォンまたはタブレットと同じワイヤレスLANに接続されていることを確認してください。

Google Homeアプリがデバイスを見つけられない。

- CITATIONスピーカーの電源がオンになっていることを確認してください。
- お使いのネットワークが正しく作動していることを確認してください。
- お使いのルーター、あるいはモデムの電源がオンになっていること、また帯域内にあることを確認してください。

ボイスコマンドに対して応答がない。

- CITATIONスピーカーの設置場所によっては、CITATIONの「OK Google」ボイスコマンドの検知が環境によって妨げられている場合があります。CITATIONを、うるさい場所や強風やエコー（音の反響）がある場所に設置することは避けてください。
- 搭載されているマイクがミュートになっていないことを確認してください。

/ 商標



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、その所有権は Bluetooth SIG, Inc. に帰属します。HARMAN International Industries, Incorporated は使用許諾に基づいてこれらのマークを使用しています。その他の商標や名前の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi認定ロゴは、Wi-Fi Allianceにより認定されたものです。



Google、Google Play、Chromecast、およびその他の関連するマークは、Google LLCの商標です。Chromecast built-inの利用にはサブスクリプション契約が必要になることがあります。Googleアシスタントにはインターネット接続が必要であり、利用可能でない国、および言語もあります。特定の機能およびサービスの可用性と稼働性は、デバイス、サービス、およびネットワークによって異なり、地域によっては利用できない場合があります。ご利用のデバイスによって、互換性のあるスマートデバイスが必要となります。サービスおよびアプリケーションへの登録が必要となる場合があります。また、別箇の利用規約や料金が適応される場合があります。

harman / kardon[®]
by HARMAN